



都井小でジャズコンサート

平成9年4月、都井小学校ホールでビル・ワトラスさんのジャズコンサートが開かれ、地元の小中学生が一流の演奏を楽しみました。ビルさんは世界で活動するプロのトロンボーン奏者。現在、CMやテレビ番組で楽曲が起用されるなど活躍中の同地区出身シンガーソングライター井手綾香さんの母方の祖父です。～平成9年6月発行・広報くしまから～



トロンボーンを演奏するビル・ワトラスさん



My Town Topics

まちの話題

市内の話題や出来事などを写真を交えて紹介します。

Scene 6

金環日食に沸いた2日間



5月21日、県内ではおよそ300年ぶりに観測された金環日食。当日は残念ながら天候に恵まれず、絶好のポイントであった都井岬では日食を観測することができませんでした。しかし「大自然の中で日食を観たい」と県内外から約1,000人が都井岬を訪れました。『金柑』にちなんだ限定商品の販売や前夜祭が行われ、会場は大盛況を見せつけていました。



INTERVIEW

雨で残念です

北九州市
荒川厚子さん(左)
由紀さん(右)

バスツアーを利用しての母娘2人旅です。朝4時半に着きました。金環日食を見られなくて残念でした。でもおいしい金柑アイスも食べられて良い記念です。初めて都井岬に来ましたが、素晴らしい景色なので晴れた日にまた来たいですね。

Scene 5

防災用かまどベンチ製作



5月20日、北方中学校で同校野球部員10人が防災用かまどベンチを作りました。同ベンチはレンガ製で天板を外せばかまどとして使える便利品。防災意識の向上を図ろうと教育委員会が主催しました。技術指導には建築士会仲間支部青年部の皆さんがボランティアで協力。同校中邑順一郎校長先生は「教育や防災のほか体験学習にも役立てたい」と話していました。



INTERVIEW

作る喜び実感

北方中学校3年
野球部主将
江藤祐貴くん

作業は思ったよりもたいへんでした。特にレンガを水平に積んでいく作業が難しかったです。でも、日ごろのチームワークを生かし、みなが協力して完成させることができたのでうれしいです。1つのものを作り上げる喜びを実感しました。

Scene 4

リフト付福祉車両を寄贈



5月18日、ホンダカーズ仲間橋保男社長が高齢者総合福祉施設『望洋の郷』に福祉車両1台を寄贈しました。車両は車イス1台を含め6人が乗用できるワンボックスタイプで、後部には車イス乗降用のリフトが装備されています。同施設井手明利施設長は「入所者の方の生活支援に役立てたい。墓参りや美容院などに連れて行ってあげたいです」と話していました。



INTERVIEW

社会に貢献を

ホンダカーズ仲間
代表取締役社長
橋保男さん

社訓に社会貢献を掲げており、これまでビーチバレー大会前の清掃やその他活動に参加してきました。今回、入所者の生活支援には種々あると知り、その用途の広さに驚いています。思っていた以上に喜んでいただけてうれしく思っています。

Scene 3

幸島の母三戸さんを偲ぶ



幸島の自然とサルをこよなく愛し、霊長類学に偉大な貢献をした三戸サツエさん。縁ある人たちが5月11日『三戸サツエ先生を偲ぶ会実行委員会』を設立しました(吉田宗充実行委員長)。委員会では三戸さんを追憶するイベントを企画。海浜清掃や三戸さんの思い出を語る会を計画しています。期日は8月5日(日)、場所は石波海岸に決定。随時情報を発信していきます。



INTERVIEW

皆で思い綴る

三戸サツエ先生を偲ぶ
会実行委員会 委員長
吉田宗充さん

三戸さんの葬儀に出席しましたが、この弔いの儀式に参加できない人も数多くいました。みな三戸さんには色んな思いがあるはずです。そんな思いを綴れる偲ぶ会にしたいですね。そして三戸さんの思いを引き継いでいきたいと思っています。

Scene 2

早く高い所に避難します



5月11日、有明小学校で津波避難訓練がありました。想定では授業中に地震が発生。津波警報が発令されるという流れ。訓練では地震が発生すると児童は落下物から実を守るため机の下で待機。その後、先生の指示で屋外へ退避し集まった学年ごとに学校近くの高台を目指しました。みな真剣な表情で訓練に臨み目標の10分より早い7分11秒で避難完了しました。



INTERVIEW

命を守るため

有明小学校6年
牧野海吹さん

今日の避難訓練は、長い坂道を走ったので少し疲れました。でも、自分の命を守るためなので頑張って走りました。本当に地震が起きたときもきちんと避難できそうです。今日は家に帰ったら、どこへ逃げたいか家族で話をしたいです。

Scene 1

社会福祉への貢献を誇る



4月25日、総合保健福祉センターで社会福祉功労者等表彰式がありました。表彰されたのは、高齢者クラブ関係功労者部門7人(井黒昭典さん、渡會敬俊さん、川崎浩平さん、谷口秀光さん、田中エツ子さん、松田政則さん、岡村善三郎さん)と家庭介護功労者部門2人(轟修さん、松下絹枝さん)の計9人。式では出席者を代表し、谷口秀光さんが謝辞を述べました。



INTERVIEW

活動続けたい

高齢者クラブ関係功労者
本城地区・下平
井黒昭典さん

地区の高齢者クラブ『新生クラブ』の会長を10年間務めました。クラブでは公園の清掃や施設の管理などに取り組み、得た報酬で日帰り旅行や遠足などに行きました。高齢者クラブも少なくなりましたが、今後も活動を続けていきたいですね。